

第3章 県の特定課題について

特定の課題に関する意識（問3）

1 県の広報活動について

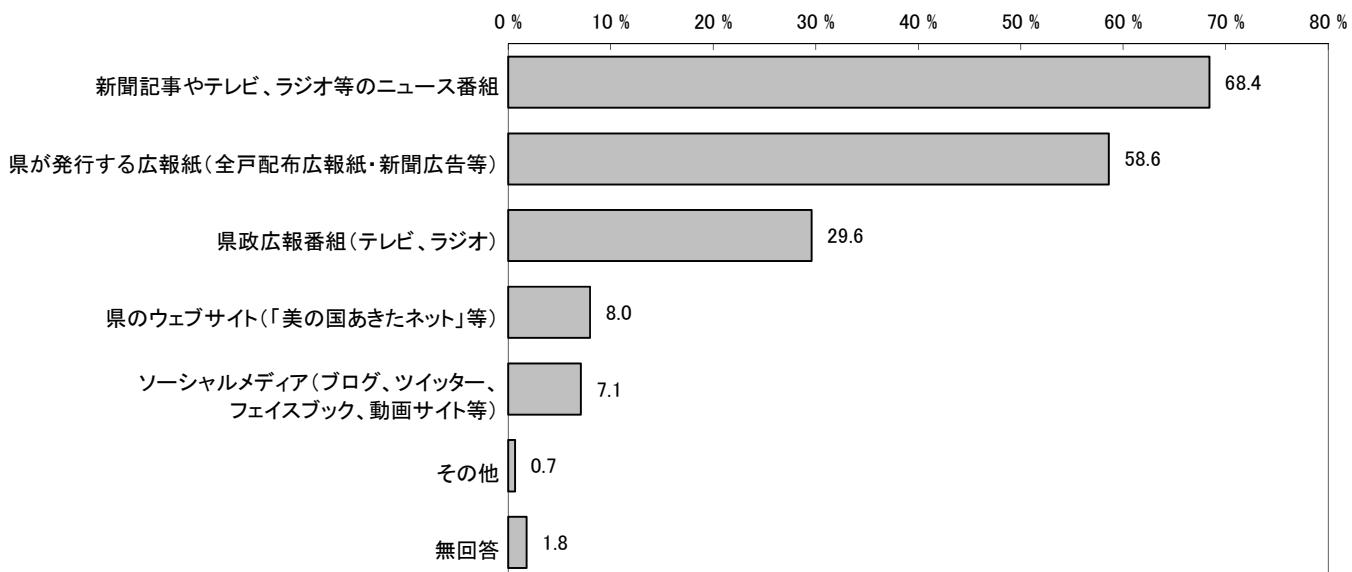
（1）県が発信する情報の取得方法

- ① あなたは、県の施策・事業等を何から知ることが多いですか（○はいくつでも）。

全体では、「新聞記事やテレビ、ラジオ等のニュース番組」の割合が68.4%と最も高く、「県が発行する広報紙」の58.6%、「県政広報番組」の29.6%と続いている。「県のウェブサイト」は8.0%、「ソーシャルメディア」は7.1%である。

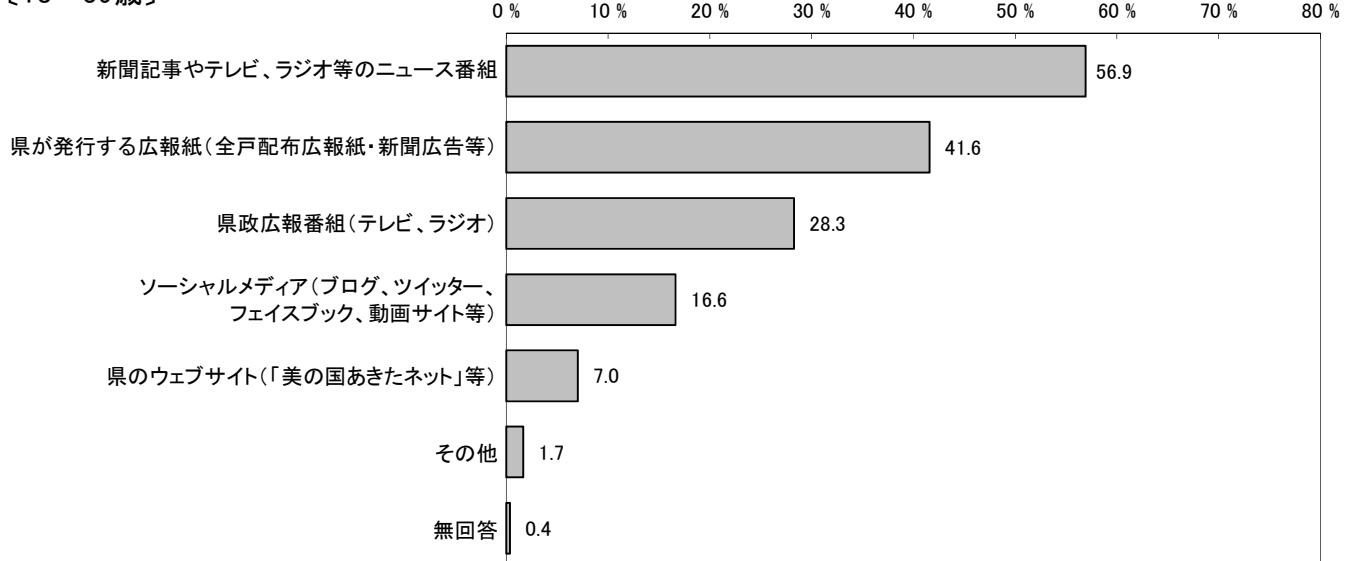
年代別では、全年代共通で「新聞記事やテレビ、ラジオ等のニュース番組」、「県が発行する広報紙」、「県政広報番組」が上位に入っている。「ソーシャルメディア」の割合は、18～39歳で16.6%であるのに対し、60歳以上では2.0%となっている。

【全体】

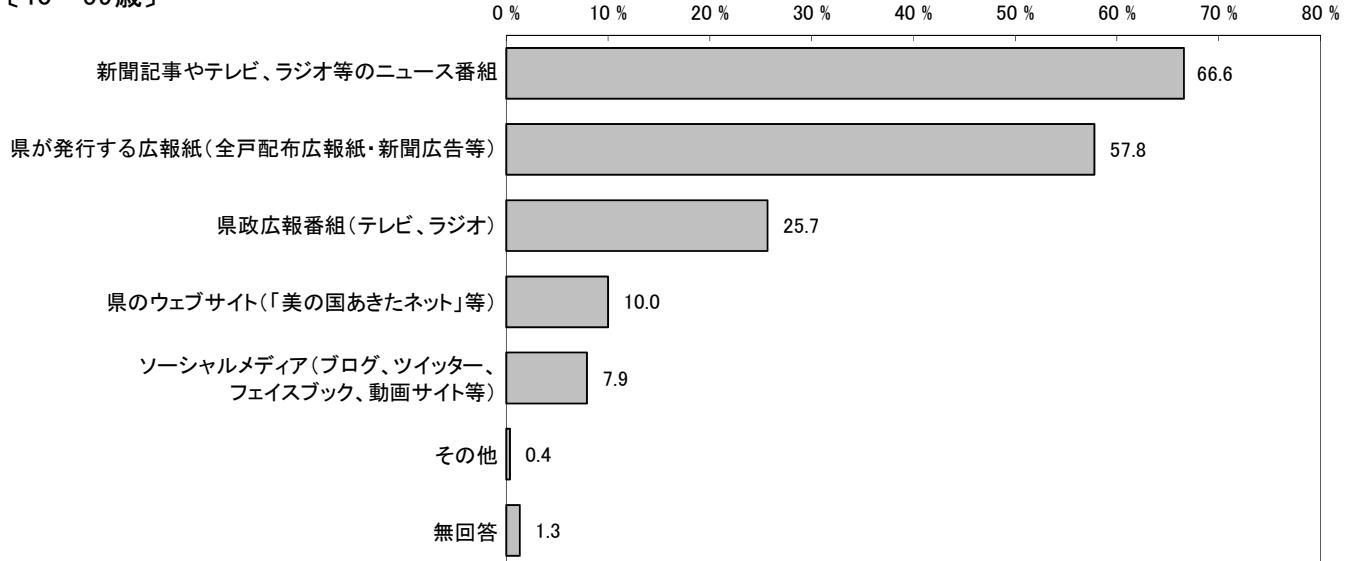


【年代別】

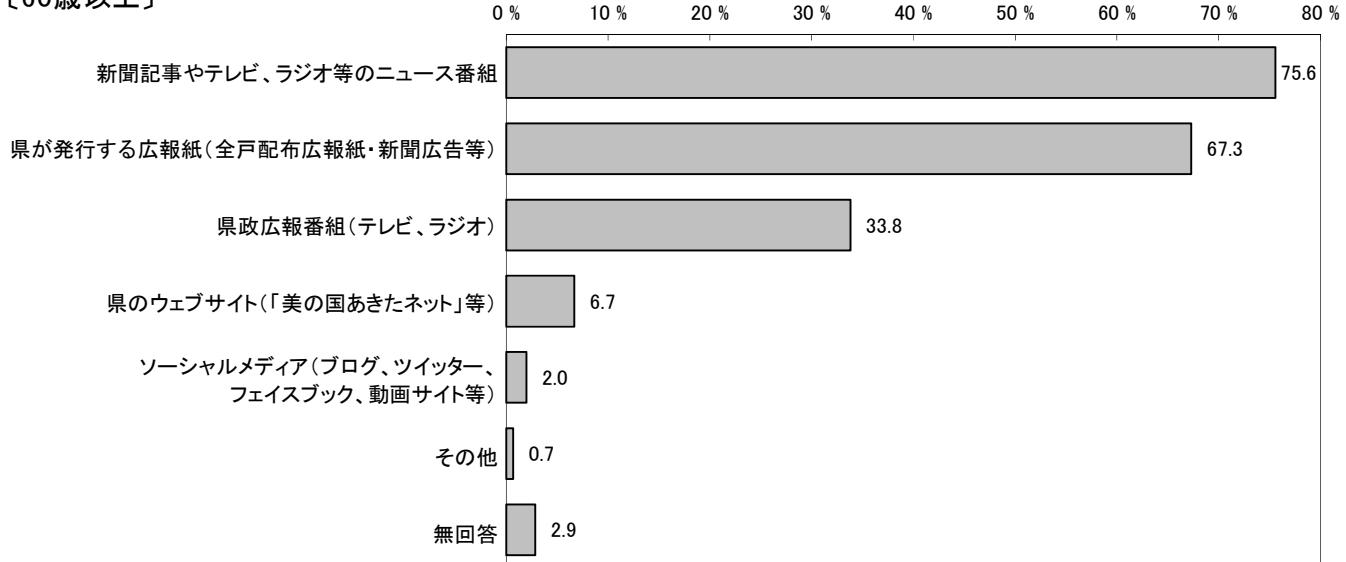
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



〔60歳以上〕



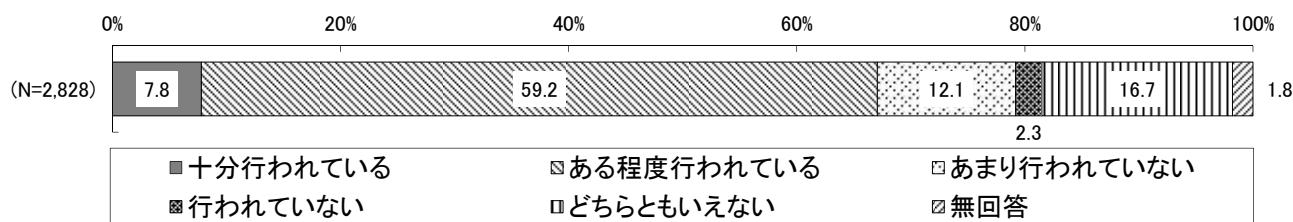
(2) 広報活動の現状評価

- ② あなたは、広報紙やウェブサイト、テレビ、ラジオ等による広報活動は十分に行われていると思いますか (○は1つ)。

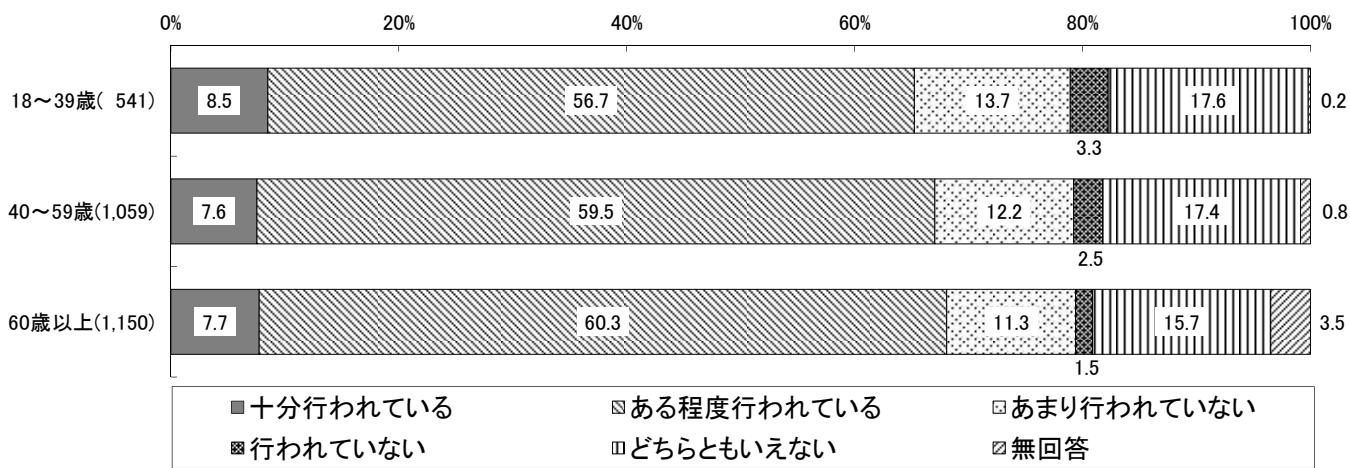
全体では、「十分行われている」と「ある程度行われている」を合わせた割合は 67.0% となっている。

年代別では、「十分行われている」と「ある程度行われている」を合わせた割合は 60 歳以上が 68.0% で最も高く、「あまり行われていない」と「行われていない」を合わせた割合は 18~39 歳が 17.0% で最も高くなっている。

【全体】



【年代別】



2 家庭での防災活動について

(1) 家庭での災害時に備えた備蓄状況

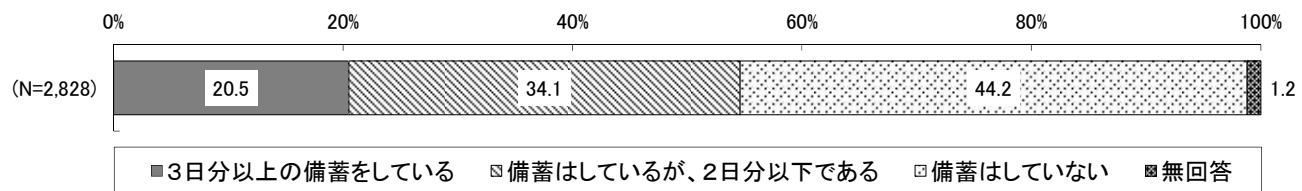
① あなたの家庭では、災害時の備えとして、水・食料等の備蓄（※）（家族人数×3日分）をしていますか（○は1つ）。

※備蓄には、普段から家庭で使うために購入・保管している冷蔵庫内の食料品等や、災害時にも活用できるペットボトル飲料水やカップラーメン、缶詰なども含みます。

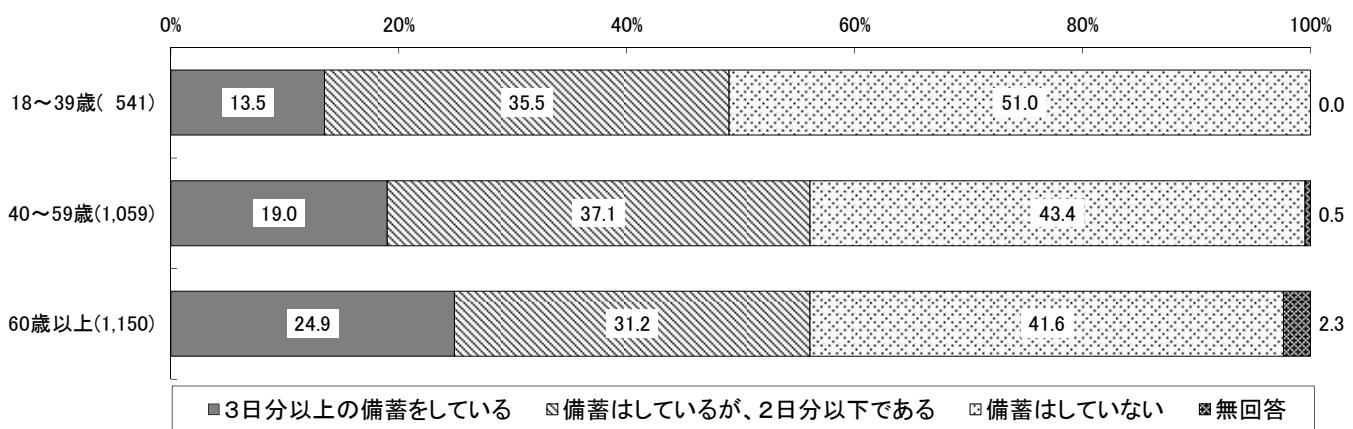
全体では、「3日分以上の備蓄をしている」の割合が20.5%、「備蓄はしているが、2日分以下である」の割合が34.1%で、それらの合計は54.6%と、「備蓄をしていない」の割合44.2%を上回る。

年代別では、「3日分以上の備蓄をしている」と「備蓄はしているが、2日分以下である」の合計は、40～59歳と60歳以上が同率で56.1%と最も高い。

【全体】



【年代別】



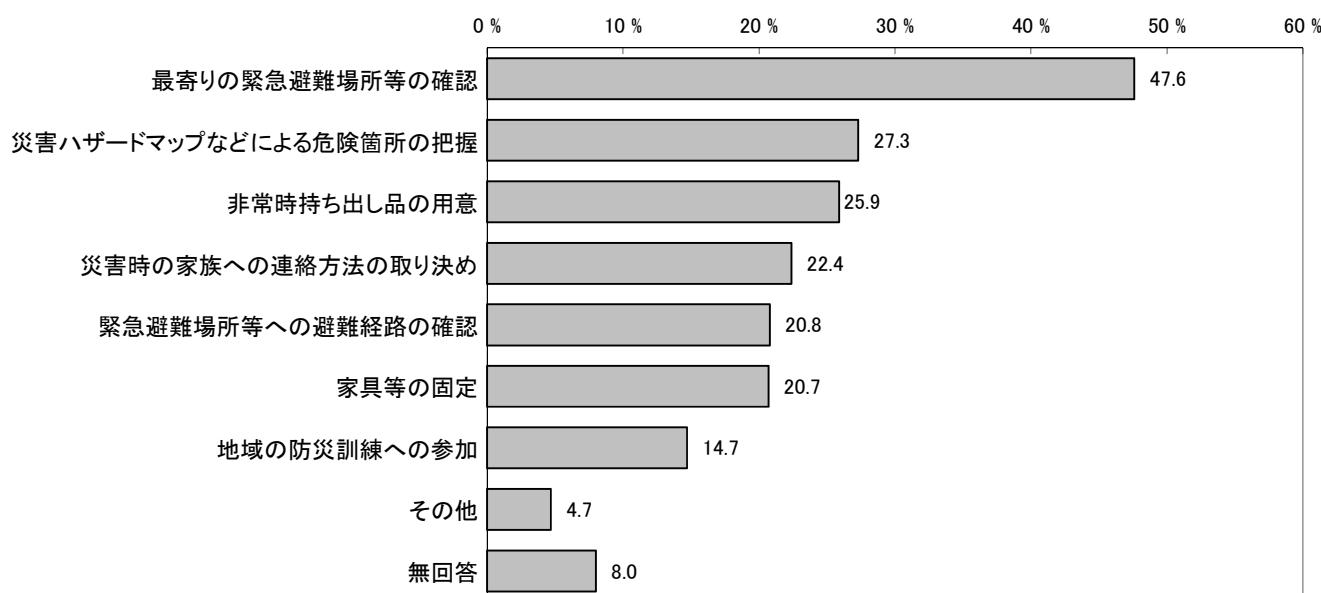
(2) 災害に備えた家庭での防災活動の状況

② あなたは、災害に備えて日頃どのような防災活動を行っていますか（○はいくつでも）。

全体では、「最寄りの緊急避難場所等の確認」が 47.6% と最も高く、「災害ハザードマップなどによる危険箇所の把握」の 27.3%、「非常持ち出し品の用意」の 25.9%、「災害時の家族への連絡方法の取り決め」の 22.4% と続く。

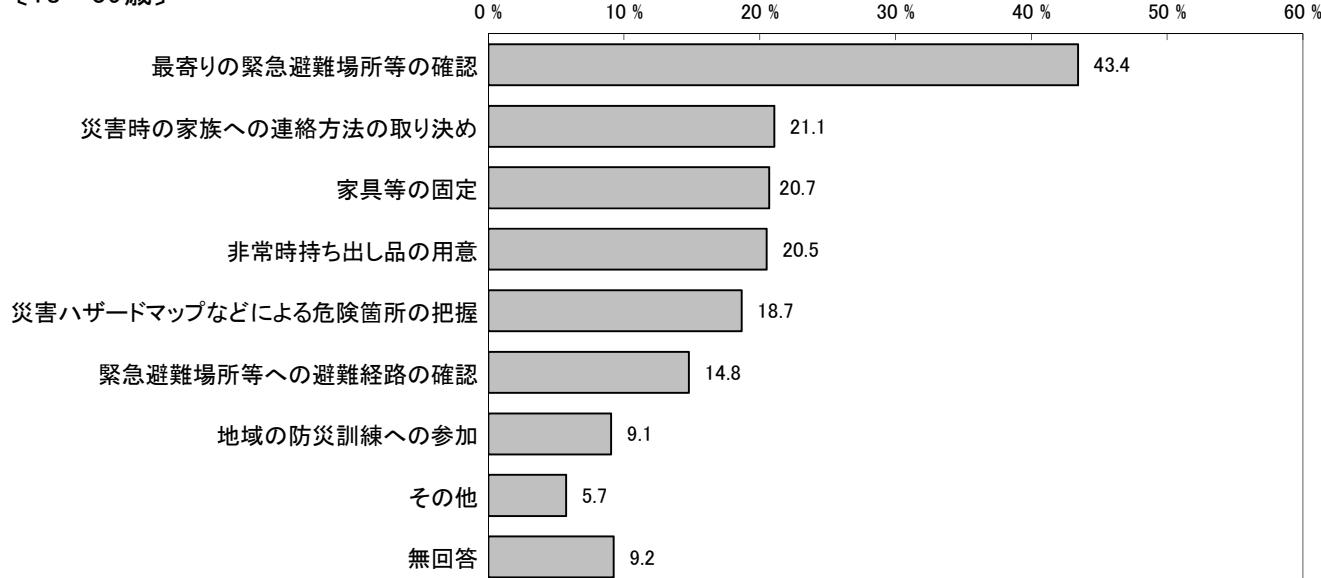
年代別では、「最寄りの緊急避難場所等の確認」は、60 歳以上で 49.1% と最も高く、年代が下がるほど低くなる傾向にある。また、「災害ハザードマップなどによる危険箇所の把握」は、60 歳以上で 30.9% と最も高くなっているのに対し、18～39 歳では 18.7% と最も低くなっている。

【全体】

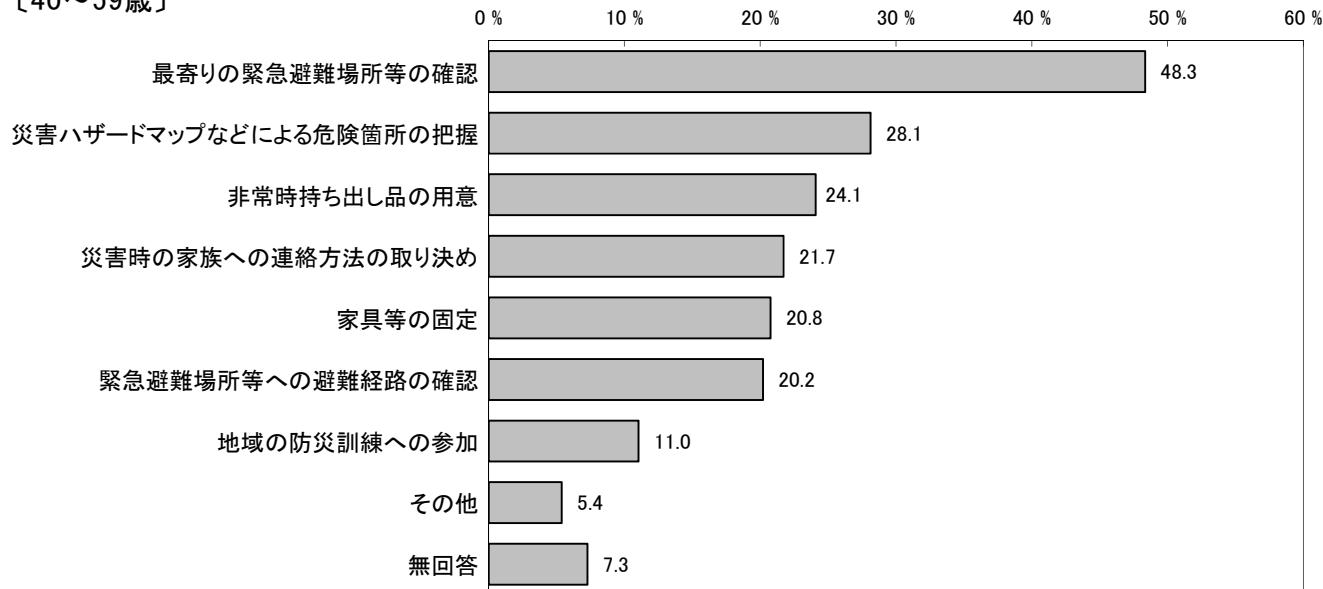


【年代別】

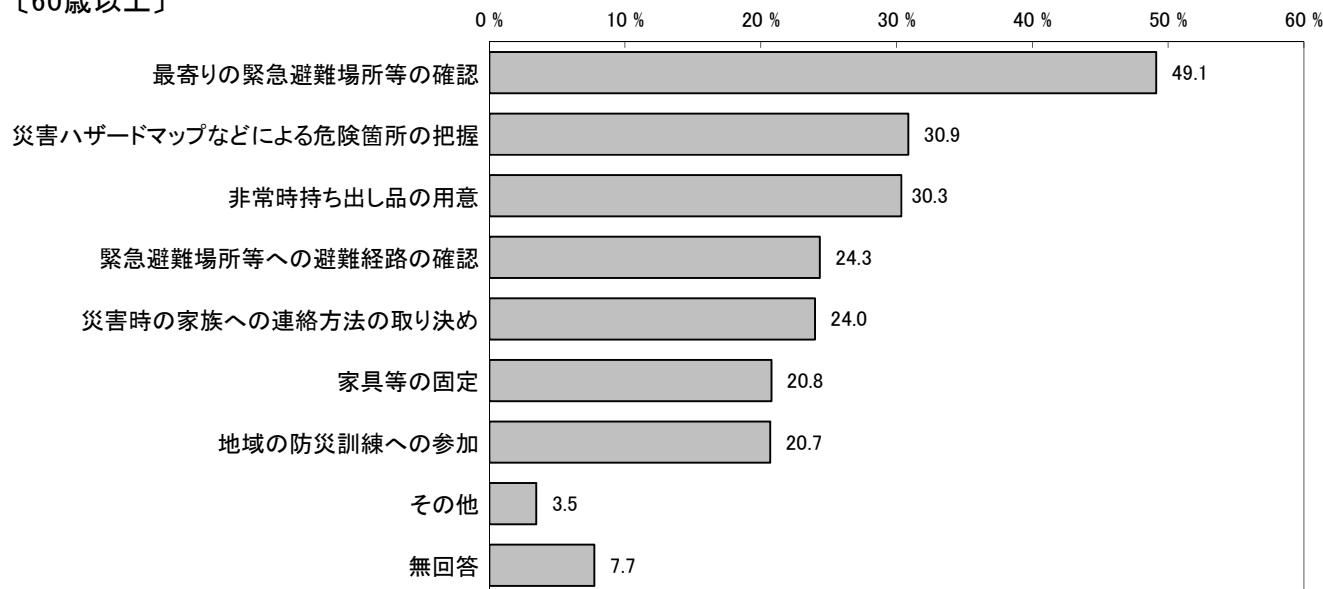
[18～39歳]



[40～59歳]



[60歳以上]



3 読書活動について

(1) 読書への興味

① あなたは読書（※）が好きですか（○は1つ）。

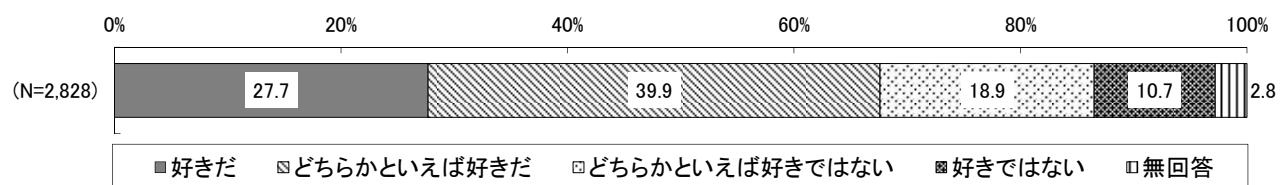
※読書には、新聞（日刊紙の電子購読版を含む。）、雑誌、電子書籍、子どもへの読み聞かせ、オーディオブック（注）も含みます。

（注）オーディオブックとは、書籍を朗読したものを録音したCDやカセット等のことです。

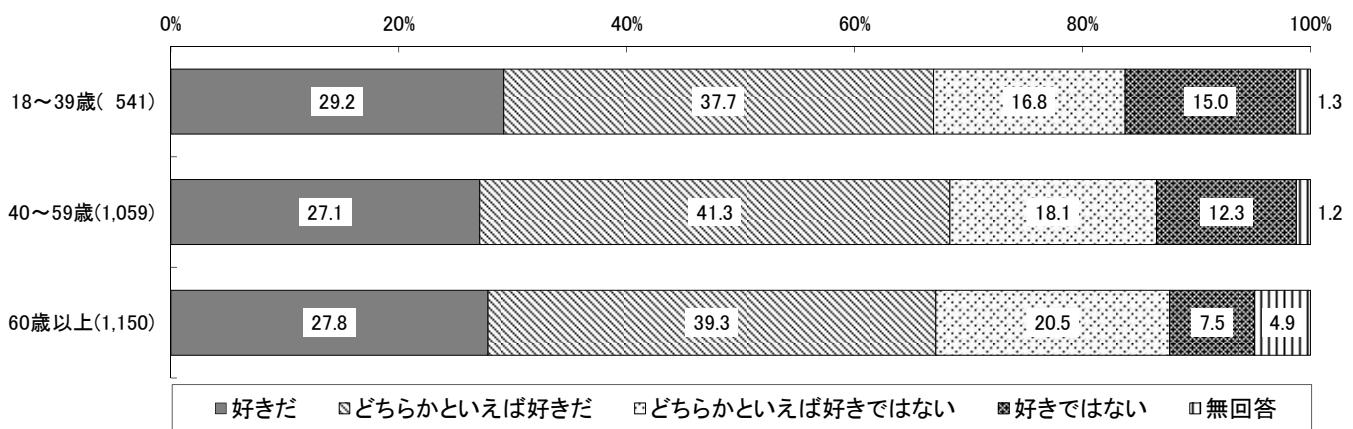
全体では、「好きだ」は27.7%で、「どちらかといえば好きだ」の39.9%と合わせると、好きと感じている人の割合は、67.6%となり、「好きではない」と「どちらかといえば好きではない」を合わせた割合29.6%を上回る。

年代別では、「好きだ」と「どちらかといえば好きだ」を合わせた割合が最も高いのは、40～59歳の68.4%で、60歳以上は67.1%、18～39歳は66.9%と、年代による違いはほとんどない。

【全体】



【年代別】



(2) 1日の平均読書時間

② あなたは1日平均（※）どれくらい読書をしていますか（○は1つ）。

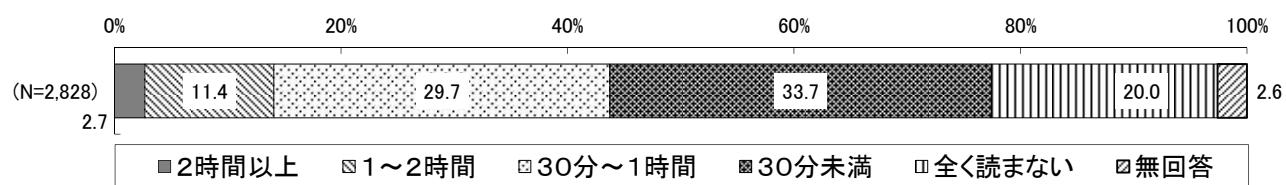
※子どもへの読み聞かせ時間も含みます。

※休日まとめ読みの場合は、1日平均に置き換えてください。

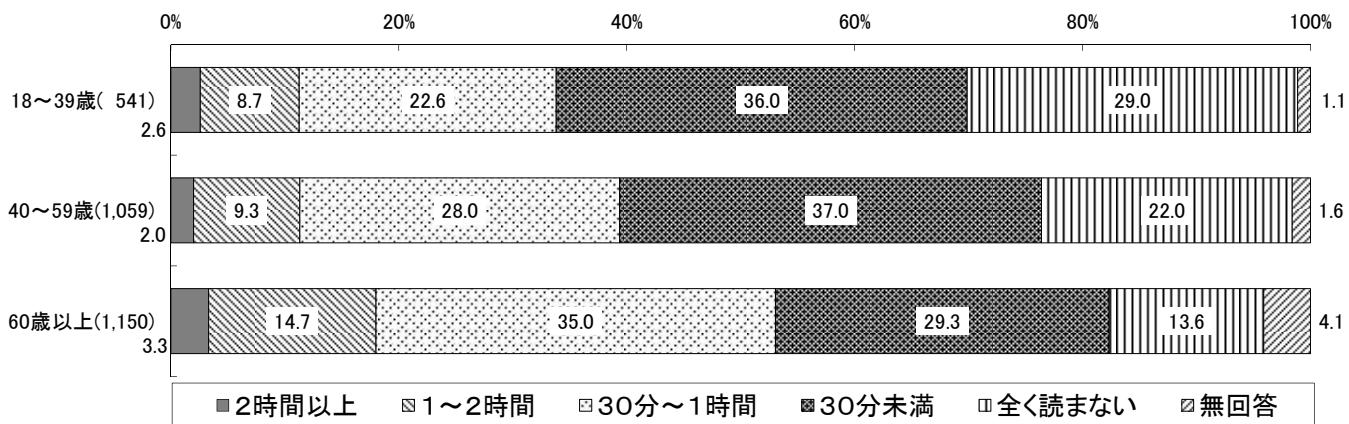
全体では、30分以上読書をする人の割合は43.8%であり、「全く読まない」は20.0%となっている。

年代別では、30分以上読書をする人の割合が最も高いのは、60歳以上の53.0%で、40～59歳の39.3%がそれに続いている。「全く読まない」は、18～39歳の29.0%が最も高い。

【全体】



【年代別】



4 男女共同参画について

「男は仕事、女は家庭」の考え方

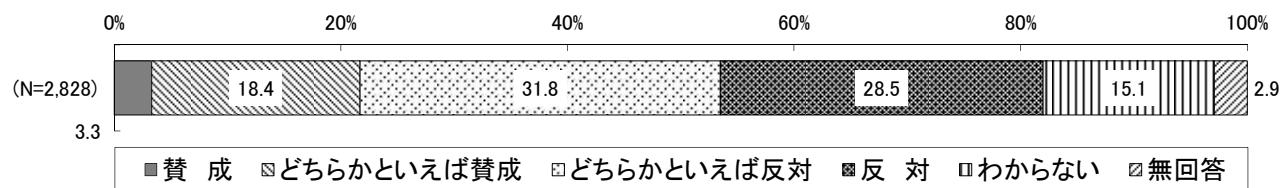
- ① 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか（○は1つ）。

全体では、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた割合 21.7%は、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた割合 60.3%よりも低い。

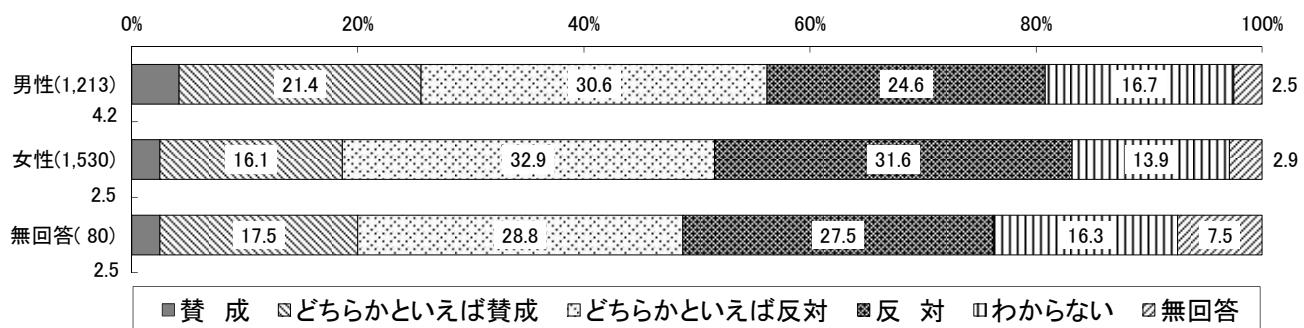
性別では、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、男性が女性より高く、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた割合は、女性が男性より高い。

年代別では、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、60歳以上が 27.2%で最も高い。「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた割合は、18～39歳が 69.1%で最も高い。

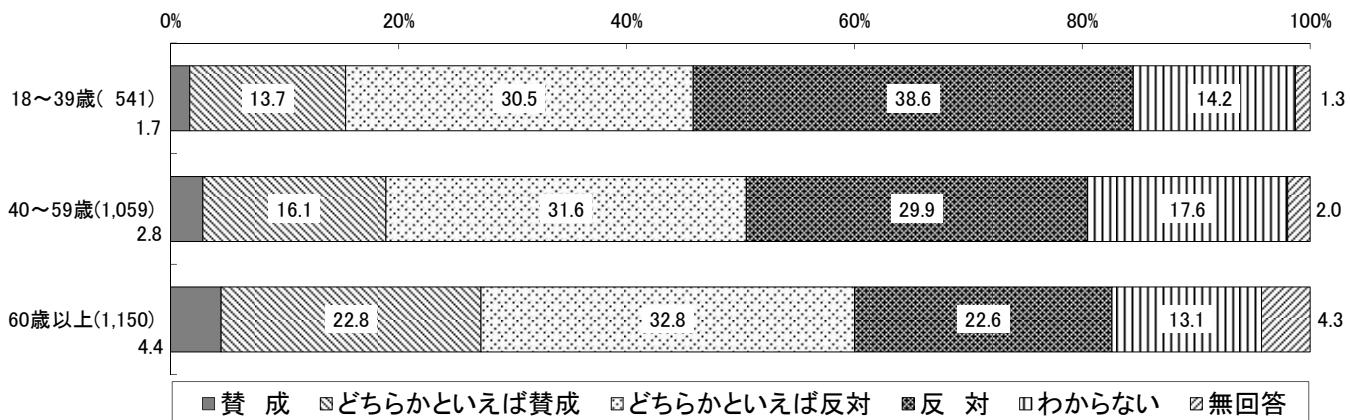
【全体】



【性別】



【年代別】



5 社会活動・地域活動について

「社会活動・地域活動」への取組の頻度

- ① あなたが、ここ1年間に仕事以外の何らかの「社会活動・地域活動」（※）に取り組んだ頻度で、もっとも当てはまるものはどれですか（○は1つ）。

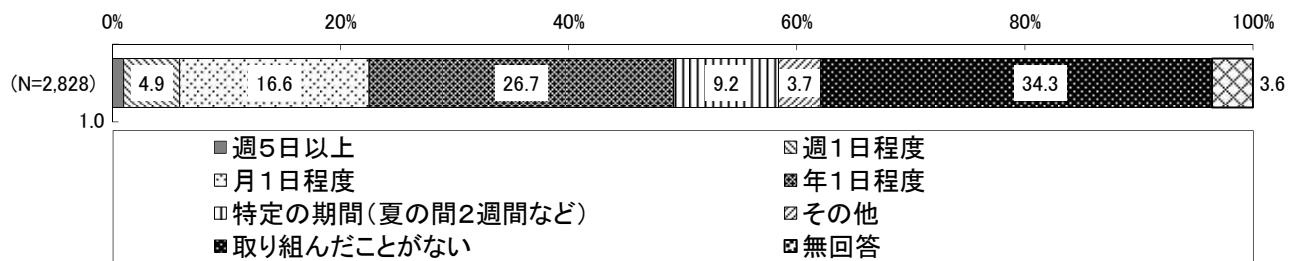
※「社会活動・地域活動」の具体例

地域の公園の花壇の手入れ、町内一斉清掃への参加、河川のごみ拾い、子育て支援、子ども会活動、まちづくりフェスティバル、祭り・伝統芸能の担い手、高齢者宅の除雪の手伝い 等

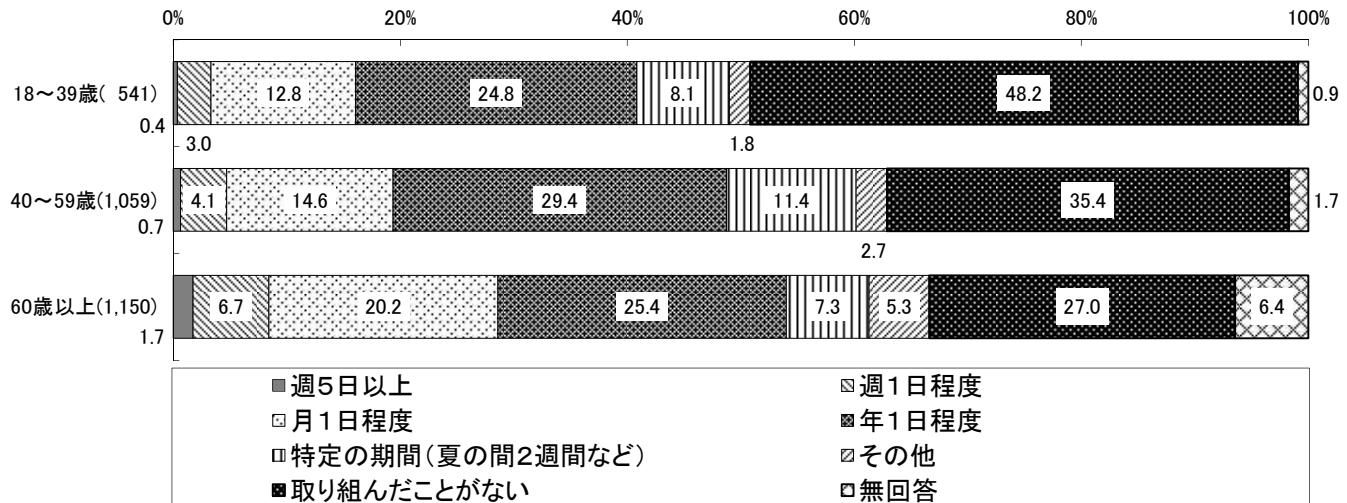
全体では、「取り組んだことがない」が34.3%と最も高く、次いで「年1日程度」の26.7%、「月1日程度」が16.6%と続いている。

年代別では、18～39歳は「取り組んだことがない」が48.2%と最も高く、60歳以上は「取り組んだことがない」が27.0%と最も低くなっている。

【全体】



【年代別】



6 地域社会の住みやすさについて

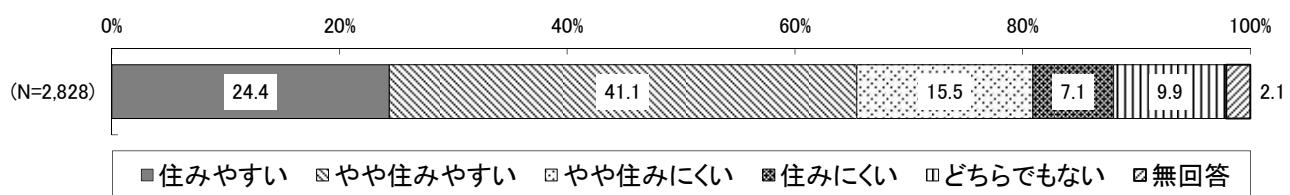
住んでいる地域の住みやすさ

- ① あなたは、現在お住まいの地域の住みやすさについて、どう思われますか (○は1つ)。

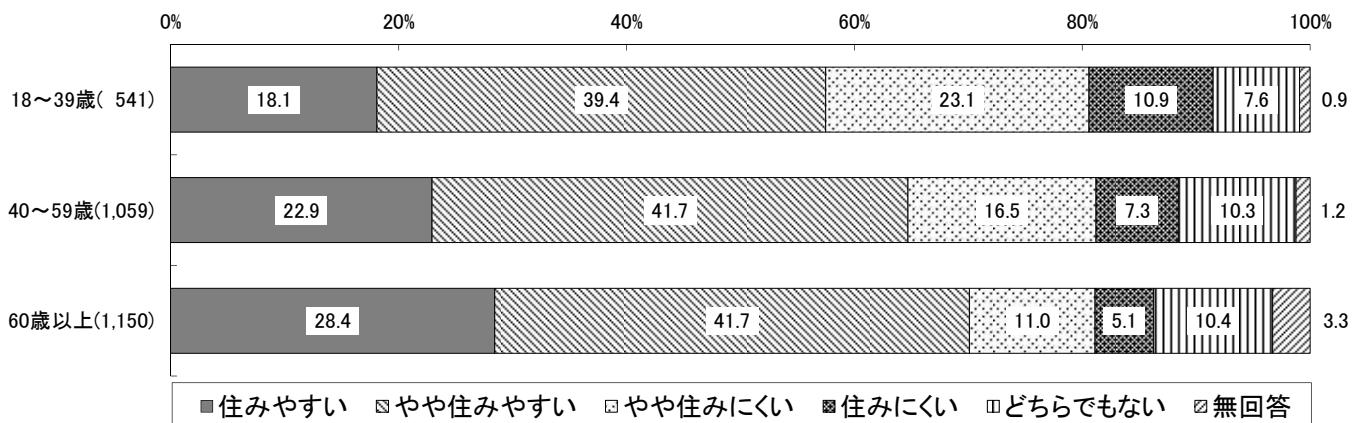
全体では、「住みやすい」と「やや住みやすい」を合わせた割合は65.5%で「住みにくい」と「やや住みにくい」を合わせた割合22.6%よりも高い。

年代別では、「住みやすい」と「やや住みやすい」を合わせた割合が最も高いのは、60歳以上の70.1%で、40~59歳の64.6%、18~39歳の57.5%と続いている。一方、「やや住みにくい」と「住みにくい」を合わせた割合が最も高いのは、18~39歳の34.0%となっている。

【全体】



【年代別】



7 子育て環境づくりについて

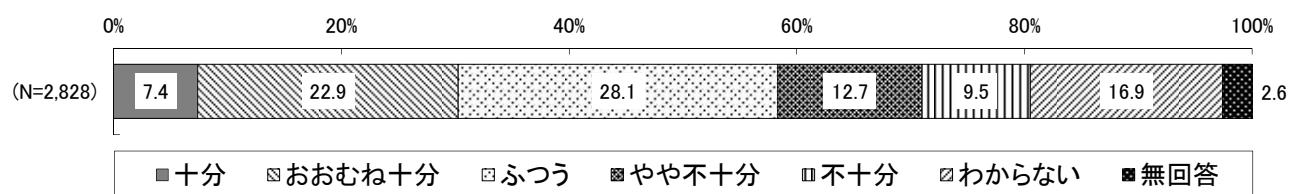
子育て家庭に対する県の経済的支援

- ① 県では、少子化対策として、子育て家庭に対して保育料や医療費の助成など様々な経済的支援を行っていますが、あなたは、これについてどう思いますか（○は1つ）。

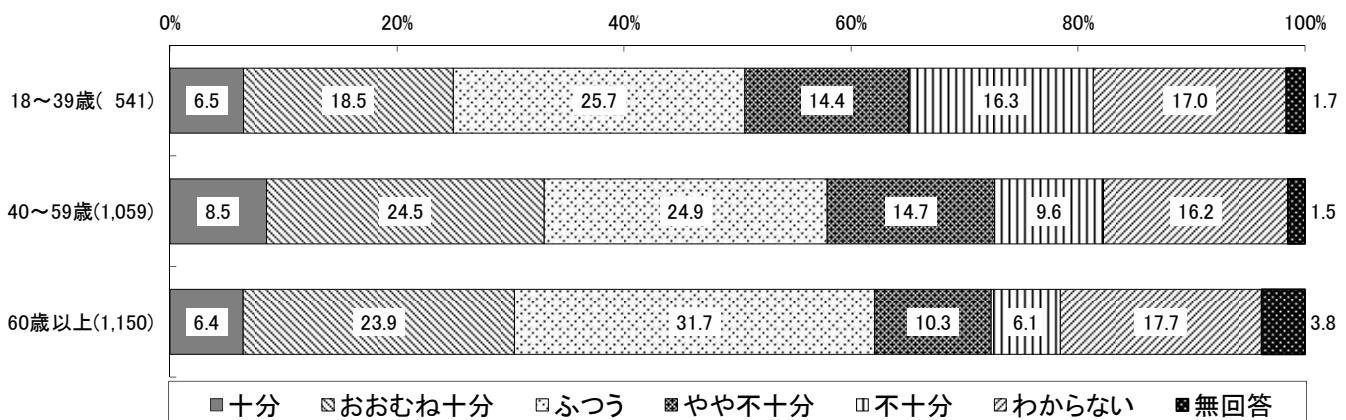
全体では、「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は30.3%、「ふつう」は28.1%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は22.2%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合せた割合（不満を感じていない人の割合）は58.4%であった。

年代別では、18～39歳は「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合が30.7%となり、「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合の25.0%を上回っている。その他の年代では、「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合が「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合を上回っている。

【全体】



【年代別】



8 高齢者の社会参加について

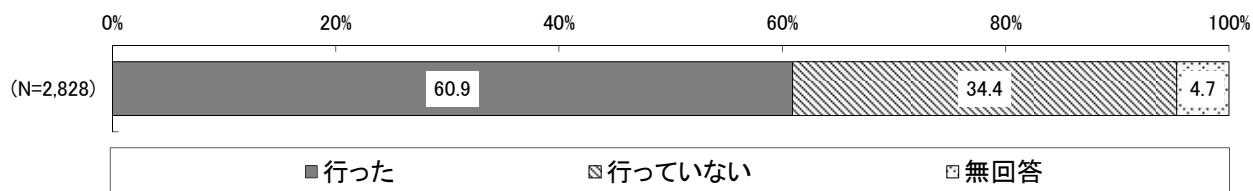
60歳以上の方の仕事や社会活動等への参加状況（平成30年度）

- ① 60歳以上の方にお聞きします。あなたは、平成30年度に、仕事や社会活動等（趣味や健康づくり、生涯学習を含む。）を行いましたか（どちらかに○）。

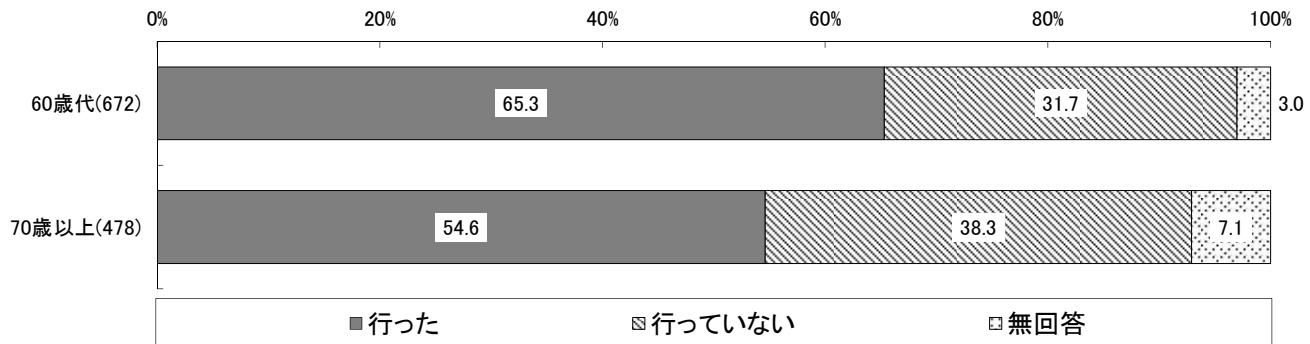
全体では、「行った」の割合は60.9%で、「行っていない」の割合は34.4%となっている。

年代別では、「行った」の割合は60歳代が65.3%であり70歳以上より高いが、70歳以上も仕事や社会活動等を行った割合は54.6%となっている。

【全体】



【年代別】



9 がん対策について

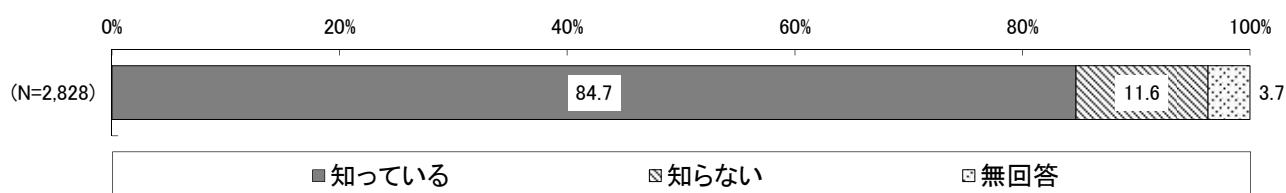
(1) 日本人のがん発症率に関する認知度

- ① あなたは、日本人の2人に1人はがんになることを知っていますか（どちらかに○）。

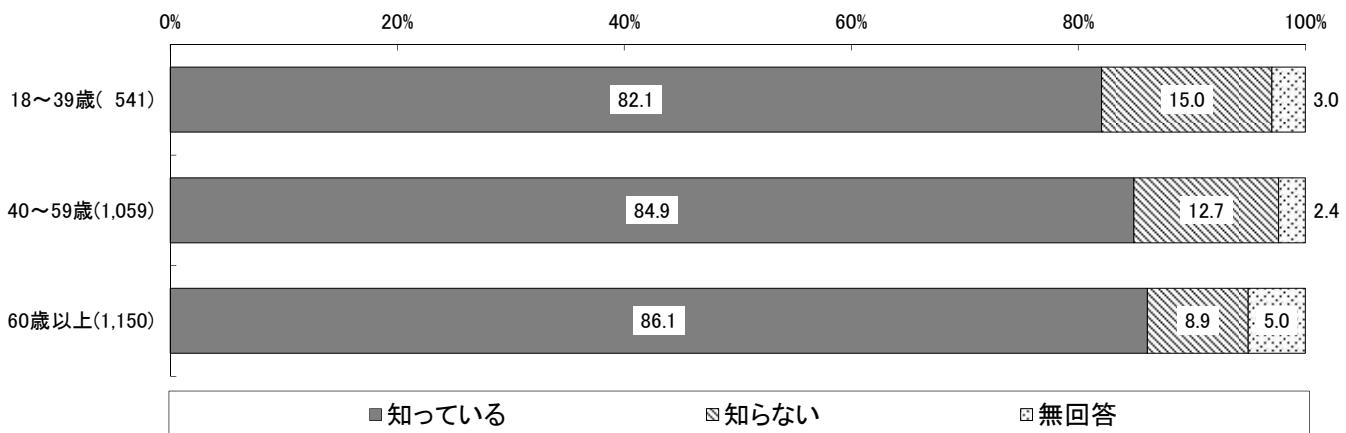
全体では、「知っている」の割合は84.7%で、「知らない」の割合は11.6%となっている。

年代別では、「知っている」の割合は、60歳以上が86.1%で最も高い。「知らない」の割合は18～39歳が15.0%で最も高い。

【全体】



【年代別】



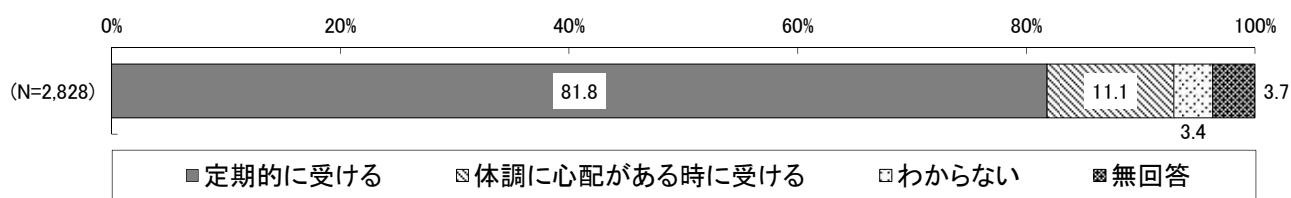
(2) がん検診の受診時期に対する考え方

- ② あなたは、がんを早期に発見するためにはがん検診をどのように受ければよいと思いますか(○は1つ)。

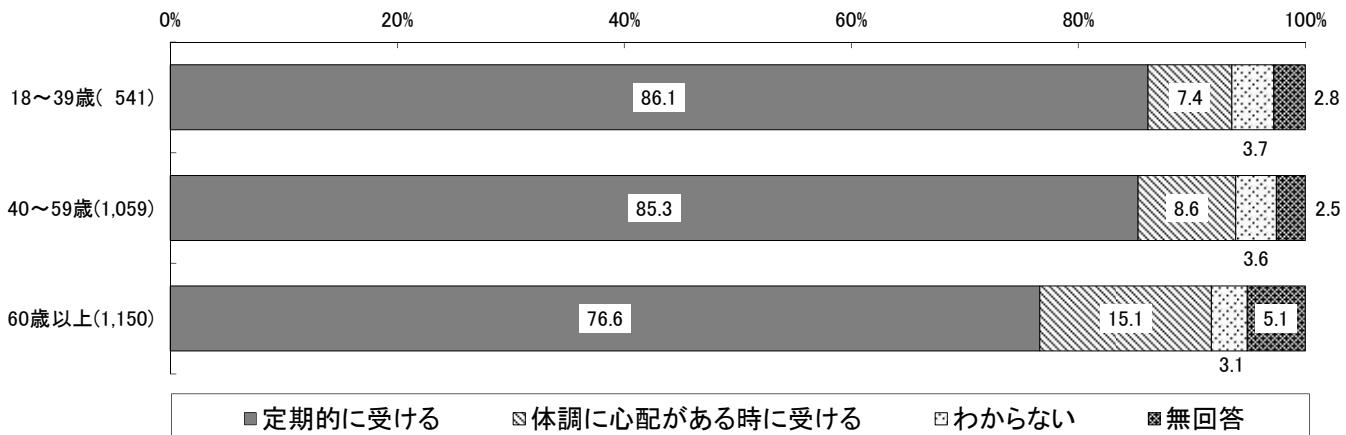
全体では、「定期的に受ける」の割合は 81.8% で、「体調に心配がある時に受ける」の割合は 11.1% である。

年代別では、「定期的に受ける」の割合は、18~39 歳が 86.1% で最も高く、次に 40~59 歳が 85.3% である。最も低い 60 歳以上でも 76.6% と 7 割を超える。

【全体】



【年代別】



10 環境保全活動について

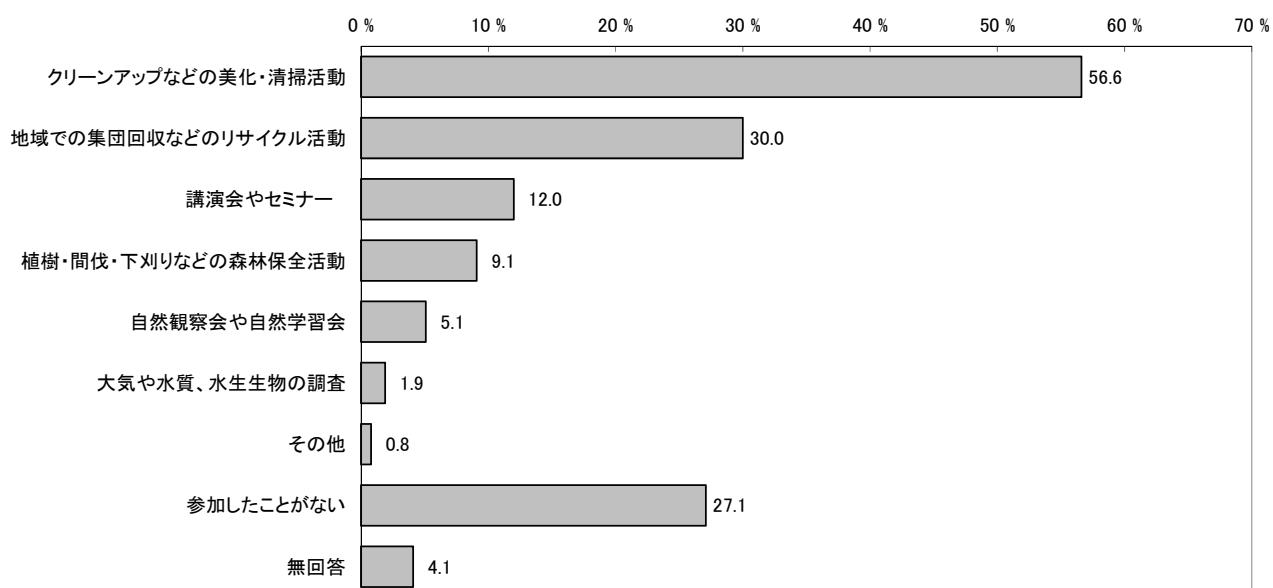
環境保全活動への参加

- ① あなたは、これまでどのような環境保全活動に参加したことがありますか（○はいくつでも）。

全体では、「クリーンアップなどの美化・清掃活動」の割合が 56.6%で最も高く、「地域での集団回収などのリサイクル活動」が 30.0%、「参加したことがない」が 27.1%、「講演会やセミナー」が 12.0%と続いている。

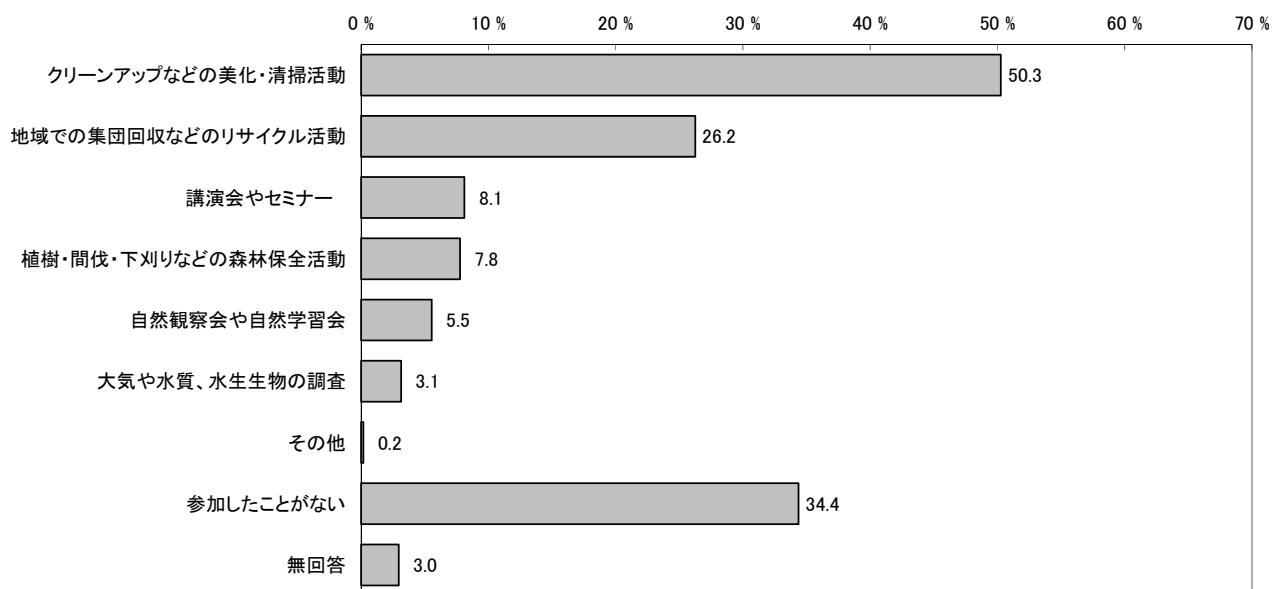
年代別では、全年代共通で「クリーンアップなどの美化・清掃活動」、「地域集団での集団回収などのリサイクル活動」が上位に入っている。また、年代が低くなるにつれて、「参加したことがない」の割合が高くなっている。

【全体】

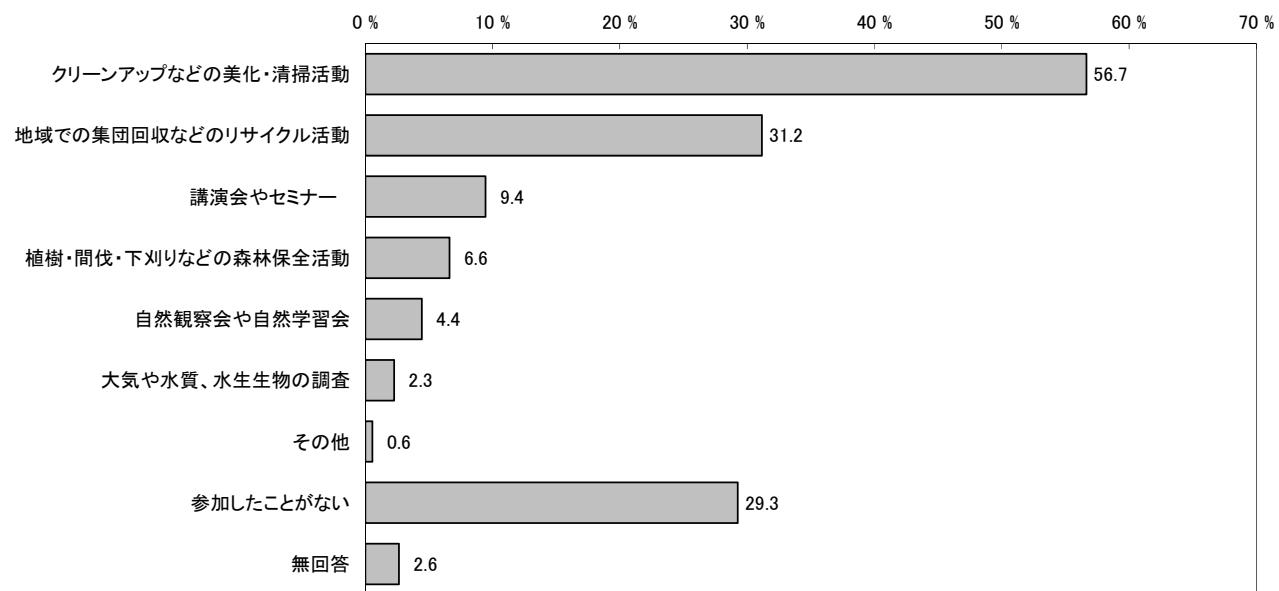


【年代別】

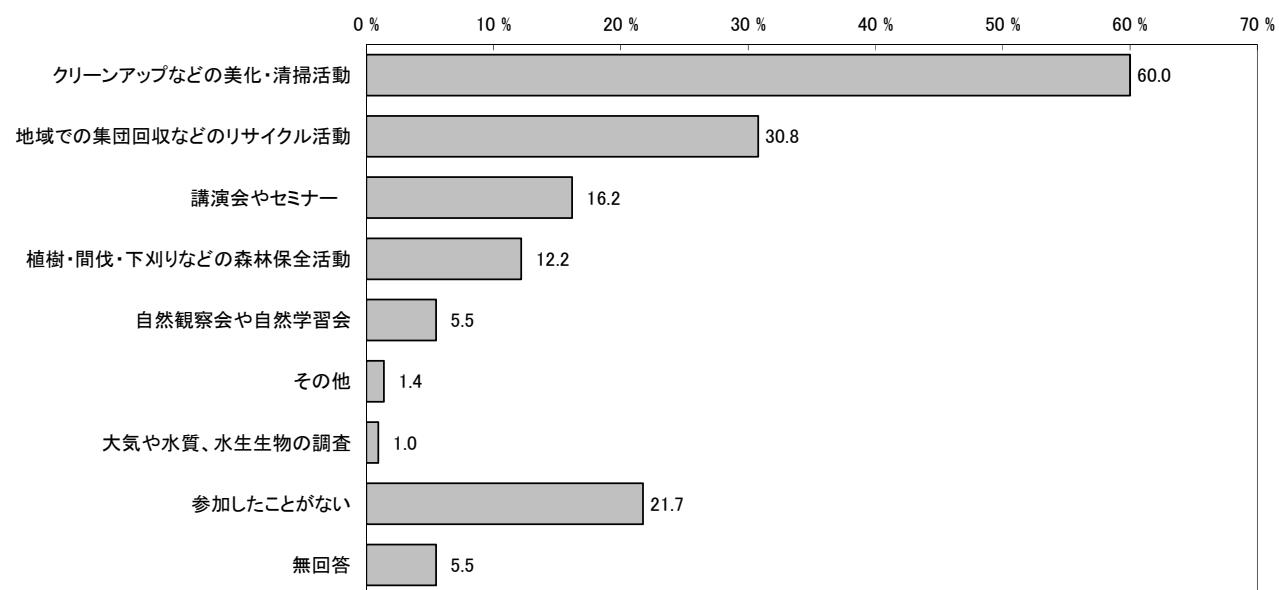
[18～39 歳]



[40～59歳]



[60歳以上]



11 地球温暖化対策について

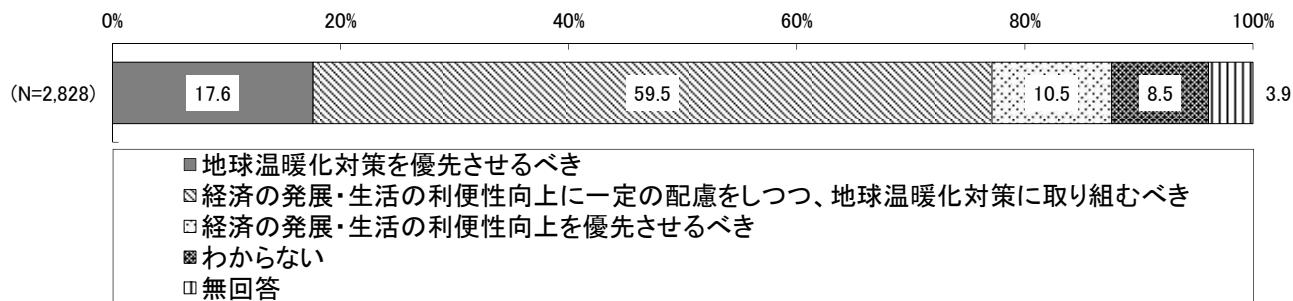
(1) 優先させるべき対策

- ① あなたは、「地球温暖化対策」と「経済の発展・生活の利便性向上」のどちらを優先させるべきだと思いますか (○は1つ)。

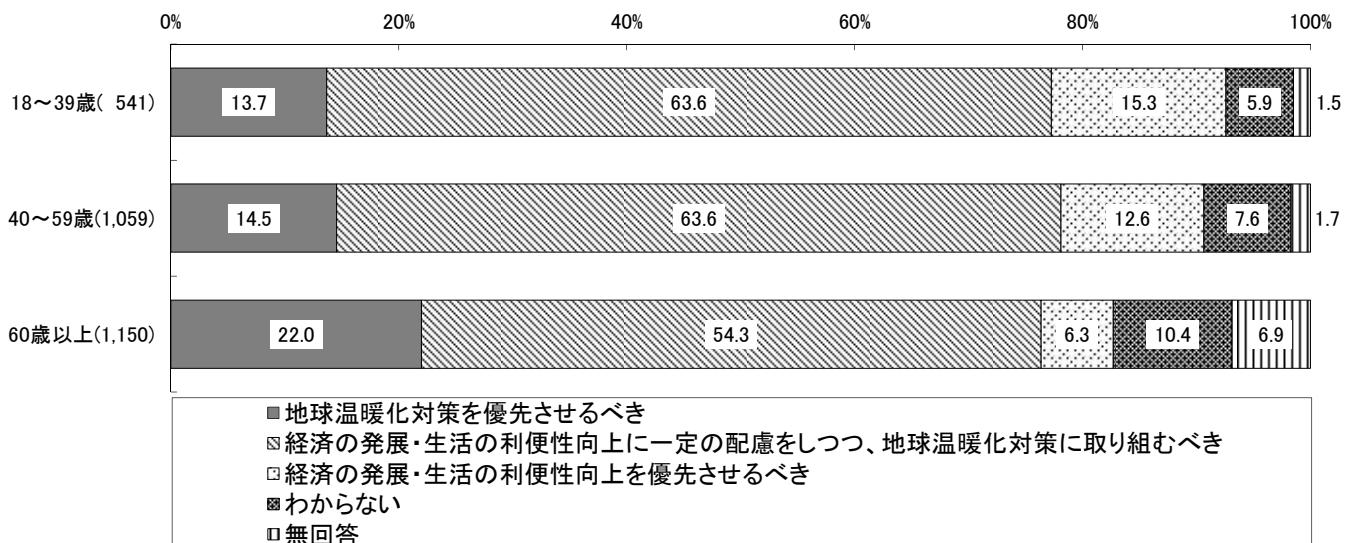
全体では、「経済の発展・生活の利便性向上に一定の配慮をしつつ、地球温暖化対策に取り組むべき」の割合が 59.5% と最も高く、「経済の発展・生活の利便性向上を優先させるべき」を約 50 ポイント上回っている。

年代別では、「地球温暖化対策を優先させるべき」の割合は、60 歳以上が他の年代より高く、「経済の発展・生活の利便性向上を優先させるべき」の割合は、18～39 歳が他の年代より高い。

【全体】



【年代別】



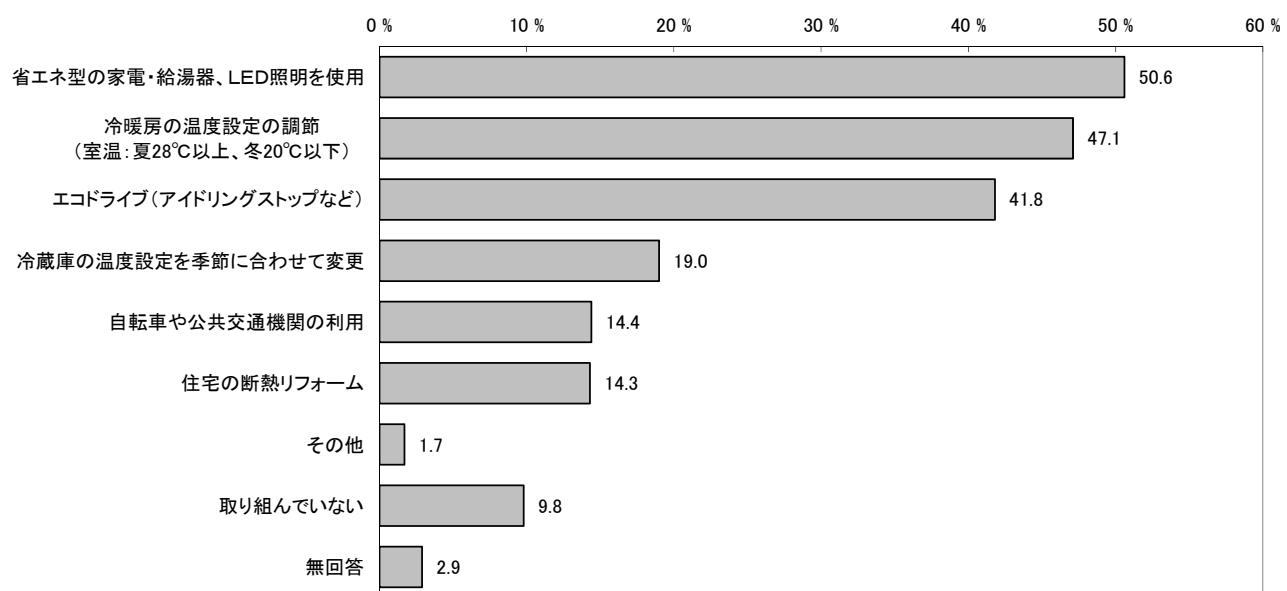
(2) 地球温暖化防止への取組

- ② あなたが、地球温暖化防止に関して取り組んでいる（予定を含む。）ことは何ですか（○はいくつでも）。

全体では、「省エネ型の家電・給湯器、LED照明を使用」の割合が50.6%で最も高く、「冷暖房の温度設定の調節」が47.1%、「エコドライブ」が41.8%で続く。

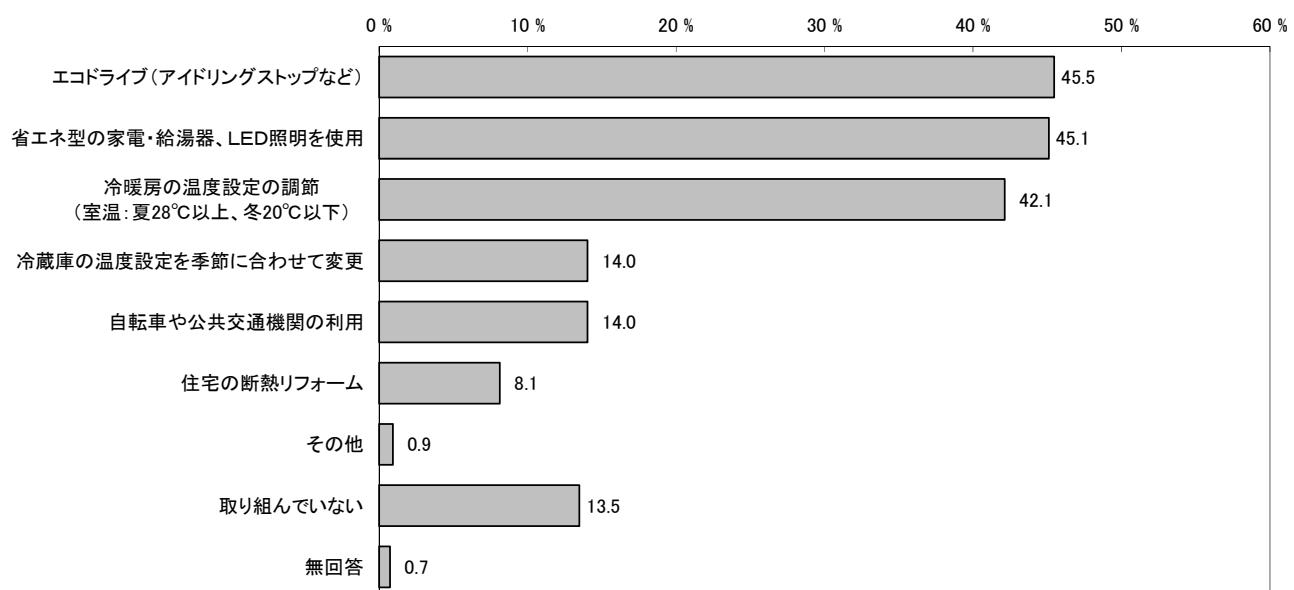
年代別では、全年代共通で「省エネ型の家電・給湯器、LED照明を使用」、「冷暖房の温度設定の調節」、「エコドライブ」が上位に入っている。なお、「エコドライブ」の割合は、18~39歳で45.5%、40~59歳で47.1%であるのに対し、60歳以上では35.3%となっている。

【全体】

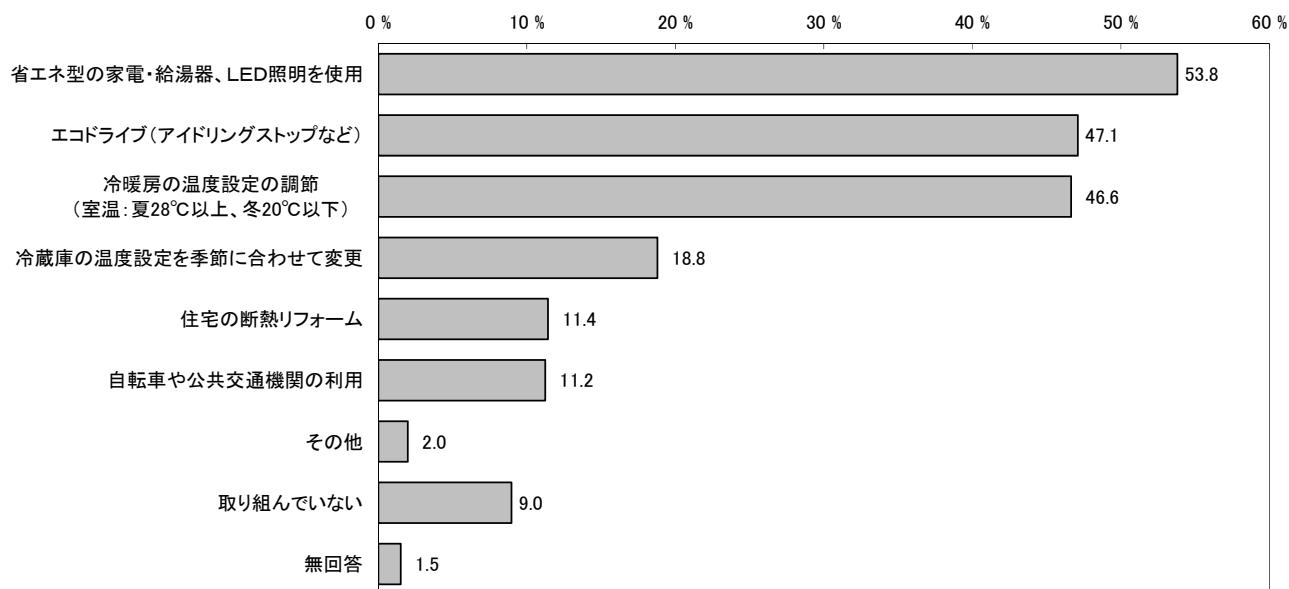


【年代別】

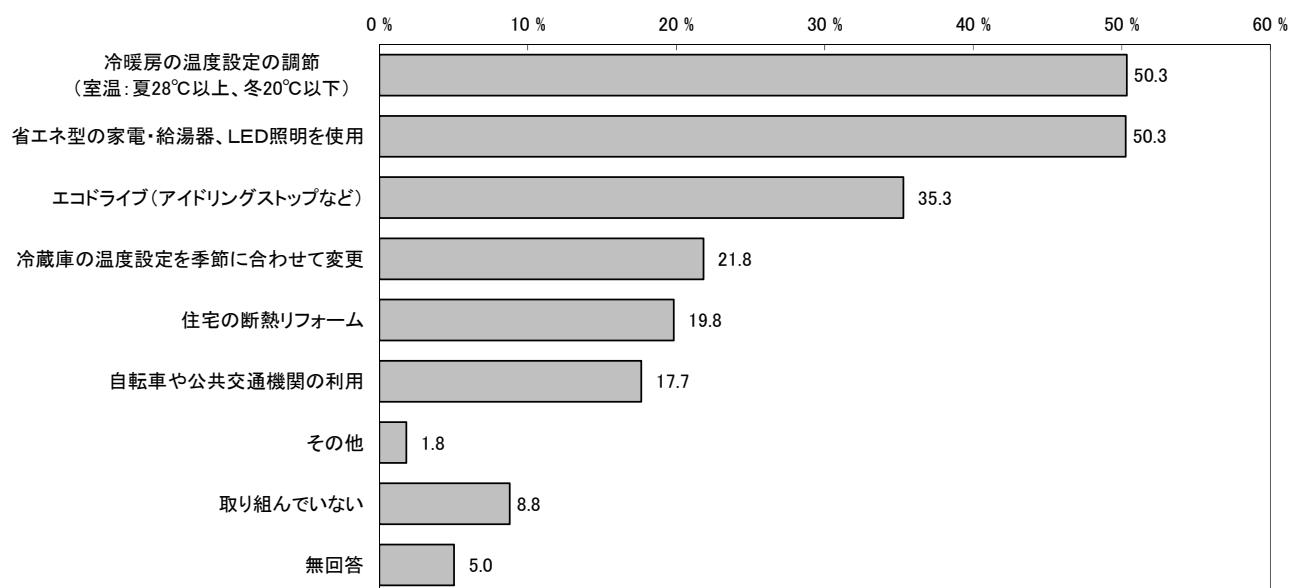
[18~39歳]



[40～59歳]



[60歳以上]



12 海岸漂着ごみ対策について

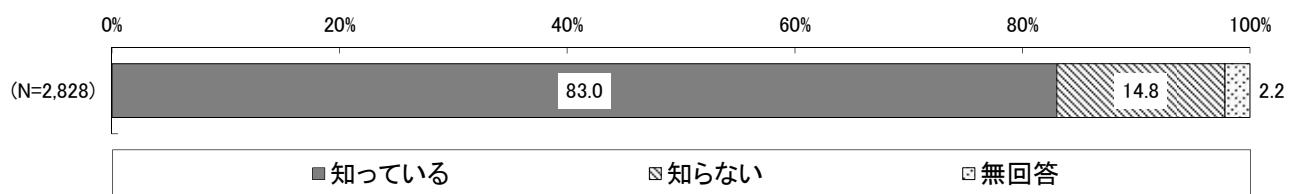
(1) 海岸漂着ごみ問題に関する認知度

- ① 秋田県の海岸には毎年のようにごみが漂着し、海岸を汚すなどの問題が発生していますが、あなたは、このことを知っていますか（○は1つ）。

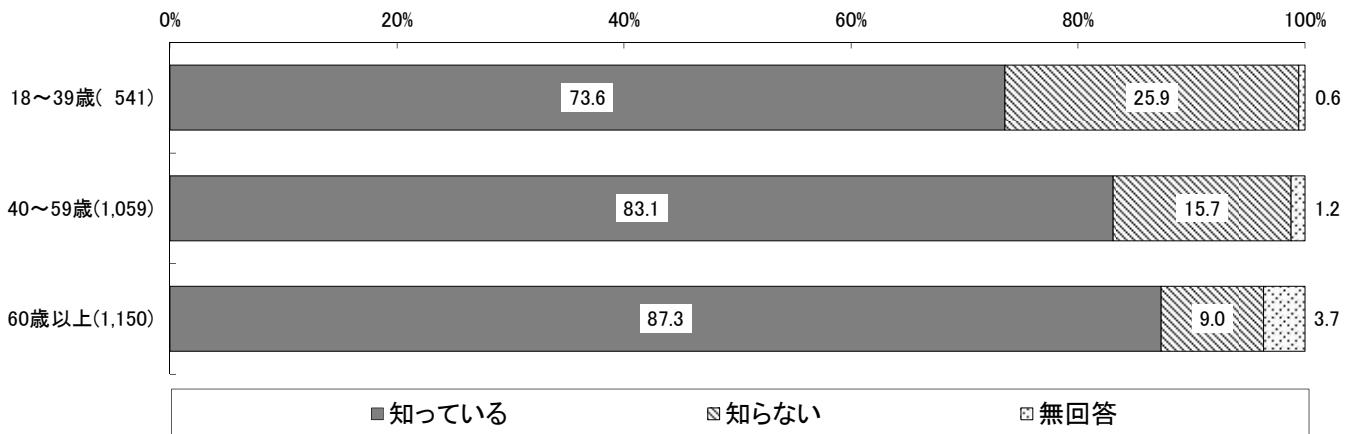
全体では、「知っている」の割合が83.0%であり、全体の8割を超える人が知っている。

年代別では、「知っている」の割合は、60歳以上が87.3%で最も高く、18～39歳が73.6%で最も低い。

【全体】



【年代別】

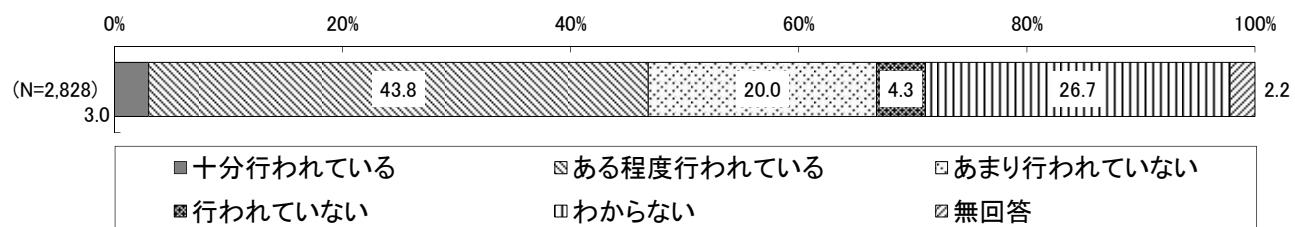


(2) 県などの取組の現状評価

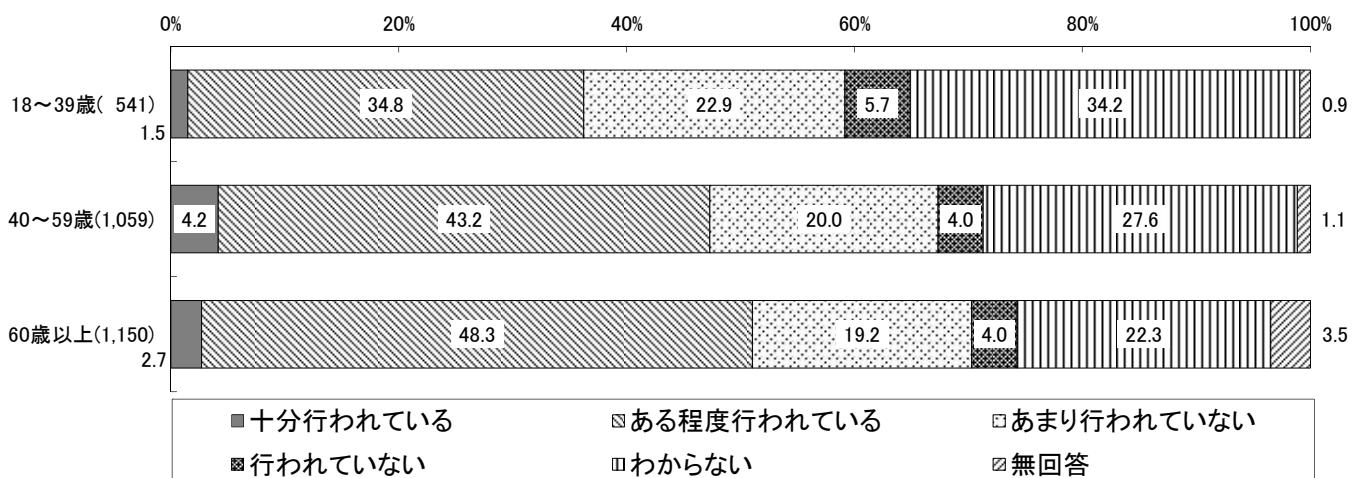
- ② この問題に対処するため、県などでは海岸や河川での清掃、発生抑制に関するイベントや広報を実施していますが、十分に行われていると思いますか（○は1つ）。

全体では、「十分行われている」と「ある程度行われている」を合わせた割合は46.8%となっている。年代別では、「十分行われている」と「ある程度行われている」を合わせた割合は60歳以上が51.0%で最も高く、18～39歳が36.3%で最も低い。

【全体】



【年代別】



13 循環型社会の形成について

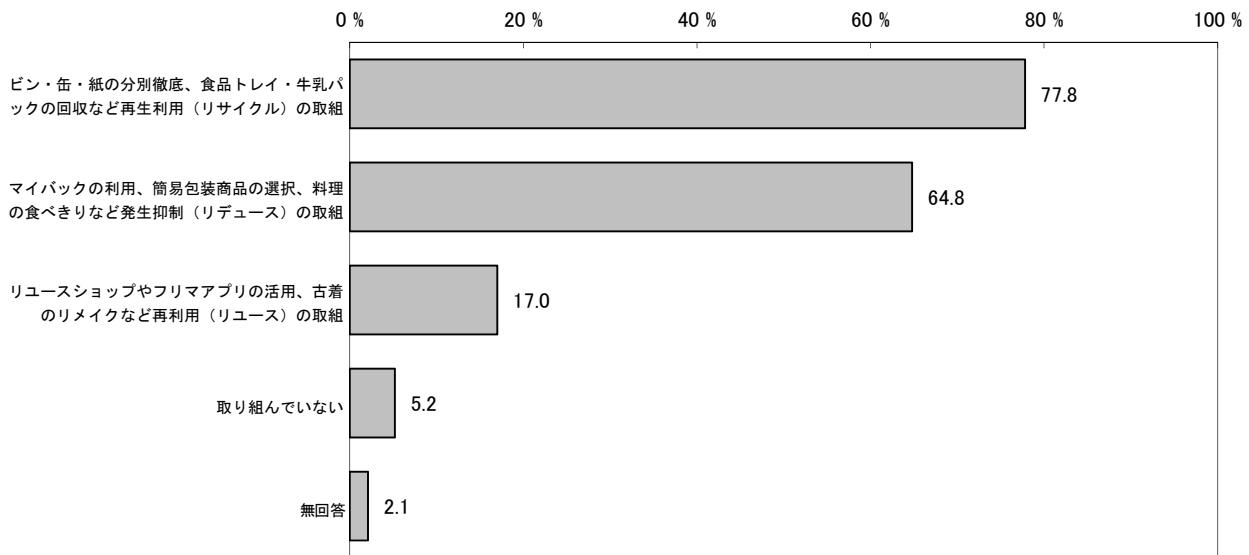
ごみを減らすための取組内容

- ① あなたは、ごみを減らすため、どのような活動に取り組んでいますか（○はいくつでも）。

全体では、「ビン・缶・紙の分別徹底、食品トレイ・牛乳パックの回収など再生利用の取組」の割合が77.8%と最も高く、「マイバックの利用、簡易包装商品の選択、料理の食べきりなど発生抑制の取組」の64.8%と続いている。「リユースショップやフリマアプリの活用、古着のリメイクなど再利用の取組」は17.0%である。

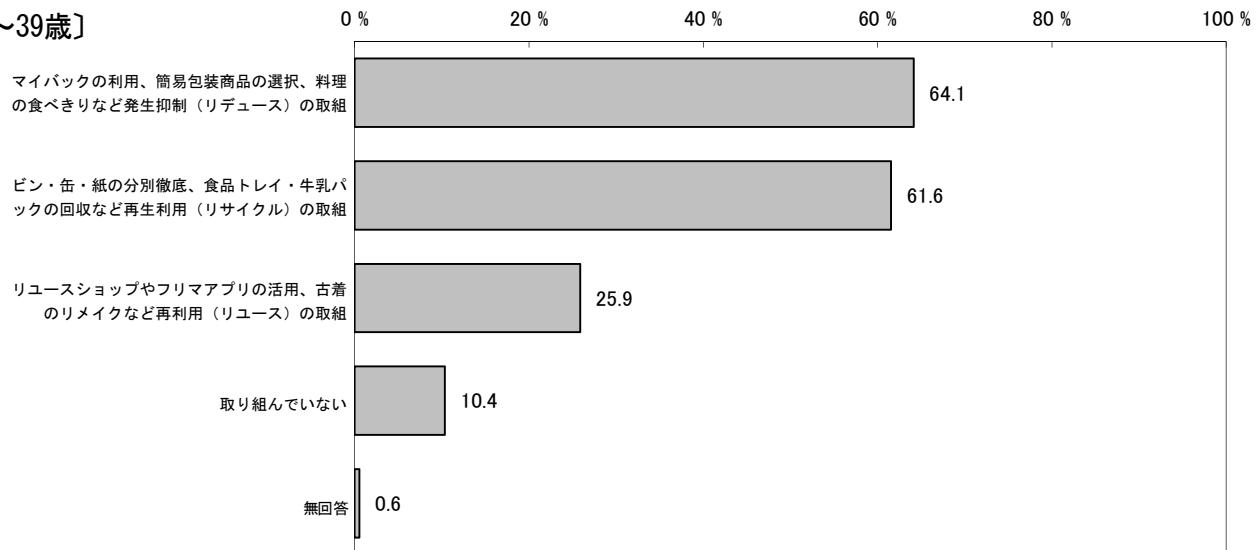
年代別では、18～39歳代は「マイバックの利用、簡易包装商品の選択、料理の食べきりなど発生抑制の取組」の割合が最も高く、他の年代と異なる傾向を示している。

【全体】

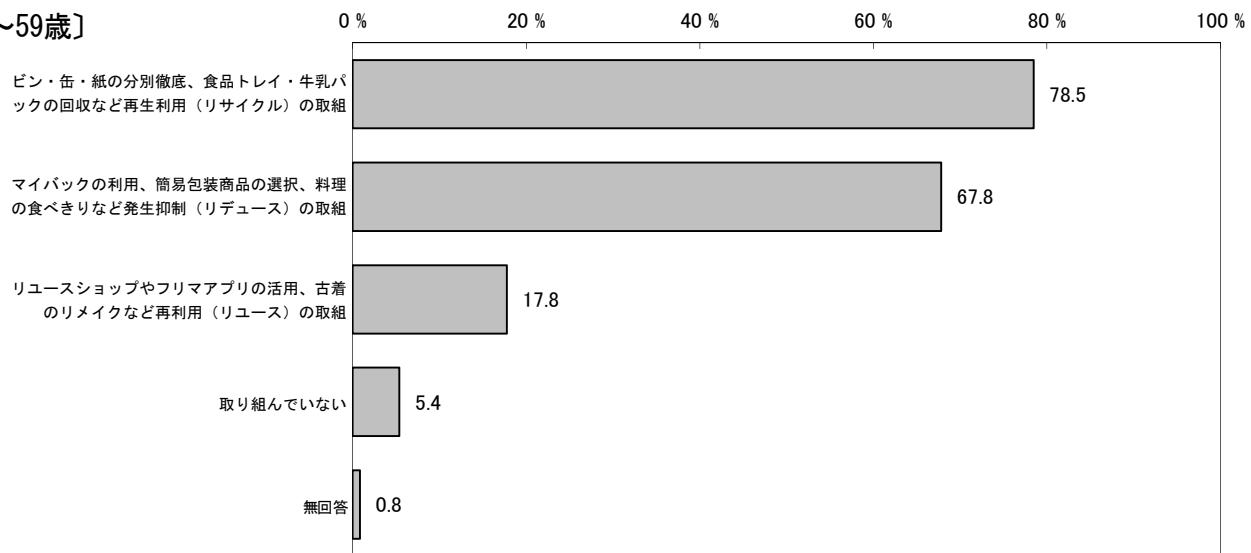


【年代別】

[18～39歳]



[40～59歳]



[60歳以上]

